

シリーズ素顔 2
 森蘭政宗(美鷹クラブ)

カラー特集 4
 平成19年度春季関東学生リーグ戦

カラーハイライト 6
 速報・世界選手権大会

カラーハイライト 8
 2007コモンズカップゴムラージボール大会

特別企画 10
 30周年を迎えた日本リーグ

グラビア特集 12
 平成19年度春季関東学生リーグ戦

大会ハイライト 16
 平成19年度関東学生新人大会

大会記録 18
 平成19年度春季関西学生リーグ戦

大会記録 19
 平成19年度関西学生新人大会

アスリートファイル 20
 淑徳大学6人衆

グラビア広告 23
 ラージボール

グラビアハイライト 24
 2007コモンズカップゴムラージボール大会

この人のこの言葉 26
 藤井基男(卓球愛好家)



2007コモンズカップゴムラージボール大会の女子シングルス75歳以上の入賞者

練習のヒント 28
 織部幸治(ITS三鷹代表)

気ままにタイムアウト 30
 佐藤正喜(日産自動車監督)

アープでワープ 31
 山中教子(サウンド球貴代表)

マンガ 32
 花丸たつきゅう/高橋達夫

記事広告 36
 アクティブ1

各地ラージボール大会 49

ニッタク杯ラージボール大会 53

第5チャンネル 38
 ビンポン東西南北 40
 各地レポート 41
 みんなのコーナー 56
 編集室 56

表紙撮影 ■ 安部俊太郎

Message

5月21日(月)~27日(日)までクロアチアのザグレブで第49回世界選手権大会(個人戦)が開催された。ザグレブは、かつてはユーゴスラビアの一都市であったが、現在はクロアチアの首都、知り合いの高名な絵の先生によれば、ヨーロッパで一番美しい街とのこと。これまで、ユーゴでは73年にサラエボ、81年にノビサドで開催されているが、サラエボはきれいな街だった、と取材に当たった先輩が言っていた。ノビサドは、79年のビョンヤンについて取材に行ったが、やはりきれいな街並みと穏やかな人々だった、という印象が今も残っている。ところで、大会は連日、テレビ東京系で放送された。前半は愛ちゃん(福原)、佳純ちゃん(石川)を中心とし

た日本女子選手、後半は中国選手を中心とした各種目の準決勝、決勝が放送された。これまで、世界のトップ選手や日本男子選手が放送されることは少なかったが、今回の構成はすばらしい出来栄で、卓球ファンにとってはこたえられない一週間となった。テレビ東京の関係者には大いに感謝をしたい。話は変わって、各種目で活躍した中国選手のプレーは、一発の破壊力、俊敏な動き、ボールコントロールの確かさ、サーブ・レシーブの巧みさ、堅実なブロックなど、どのプレーをとっても芸術品。だが、それ以上に「広い空間どり、どこまでも抜けるような軌道作り」が世界一の原動力になっている気がした。(片野)